

第5章 みんなで取り組む共働プロジェクト



「蛍夜」(古賀の魅力再発見コンテスト)

第5章 みんなで取り組む共働プロジェクト

環境保全に関わる活動は、市民、事業者、行政など、多様な主体が共働で取り組むことで大きな効果が生まれます。また、同じ目的を共有し、一丸となって取り組む機運が高まることで、地域とつながる喜びや、郷土愛の醸成、個人・団体間のネットワークの強化といった効果も期待されます。取り組みの機運を高めるには、より多くの人が認知していて、かつ、重要視している分野について目標を掲げることが大切です。

人が環境を認識する場合、空気や水といった環境を形づくる要素を挙げるよりもむしろ、大根川や松原などの様々な環境の要素を環境のイメージとして挙げる人が多いのではないのでしょうか。

「みんなで取り組む共働プロジェクト」は、私たちの取り組みが古賀市の環境改善にどのように貢献していくのか実感するためのプロジェクトです。プロジェクトを構成する施策は環境目標を達成するための基本的な取り組みですが、環境分野を横断して取り組むことで共働の環がさらに広がることを期待しています。

ここでは共働プロジェクトとして、次の2点を掲げます。

<みんなで取り組む共働プロジェクト>

- ① 大根川輝きプロジェクト
- ② 環のまちプロジェクト

1 大根川輝きプロジェクト

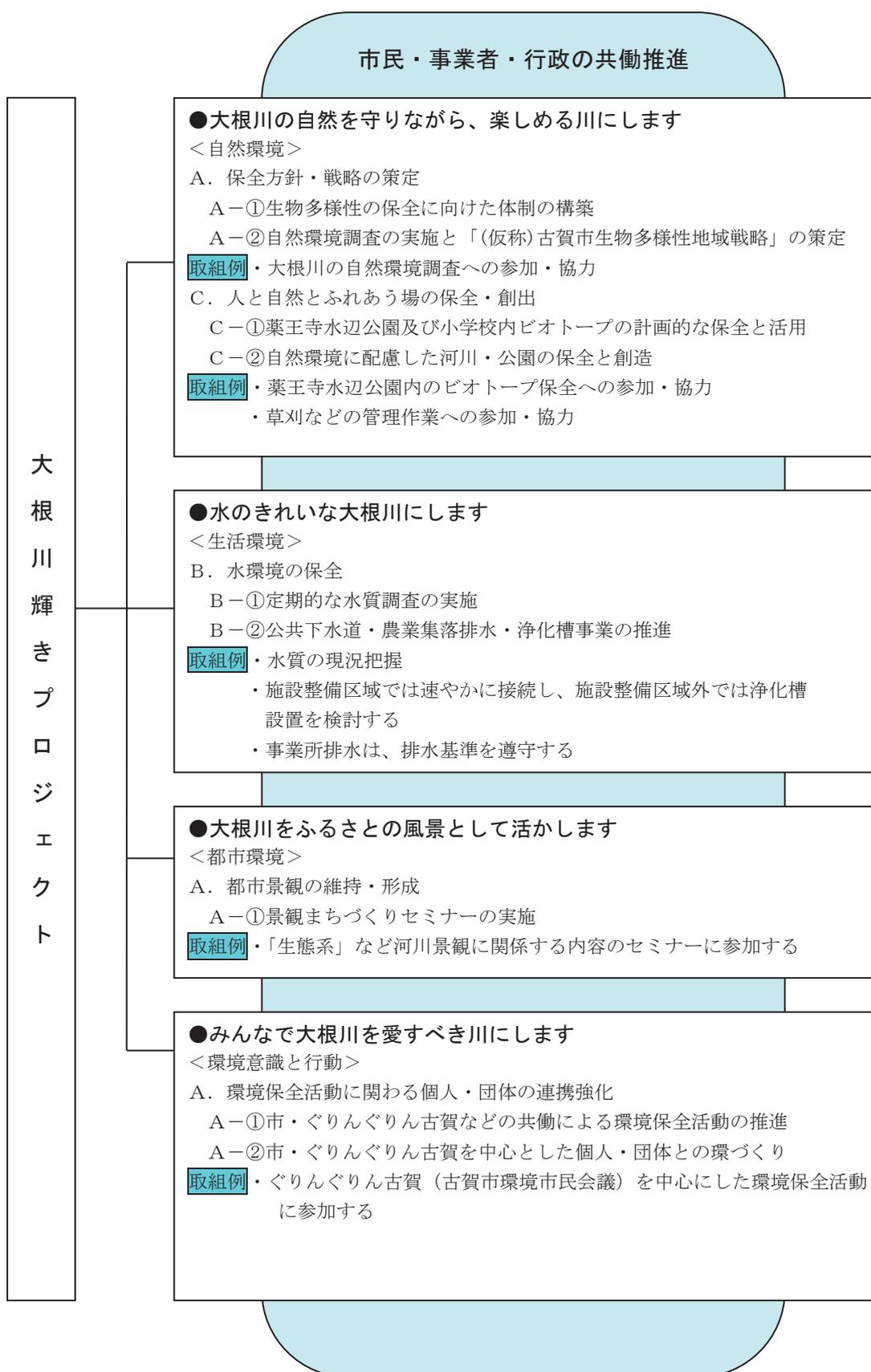
<目的>

古賀市の水辺や緑についての市民の愛着は深く、市民アンケート調査結果（P. 17、図 1-12 参照）によると、特に残して欲しい水辺の筆頭として大根川やその一部の清瀧、薬王寺などが挙げられています。一方で、環境の重要度・満足度を問う項目では、「水辺の保全・創出」が重点改善分野に挙げられており、環境資源を活かした環境づくり、活動方針の検討が求められています。

また古賀市の汚水処理人口普及率は平成 24 年現在、約 9 割に達しており、大根川の水質も上流では経年的に環境基準を達成しています。古賀市の水辺については水質の美しさのみではなく、ごみの投棄状況や草の繁茂状況など、水辺環境としての美しさも求められています。

そこで、古賀市の自然環境を構成する重要な要素の一つである大根川を、生物多様性・水質・景観などの分野を総合的に保全し、その過程を個人・団体などの多様な主体と共働して推進していくことで、大根川が将来にわたり輝き続けることを目的とします。

<大根川輝きプロジェクトの具体的イメージ>



2 環のまちプロジェクト

<目的>

地球温暖化や生物多様性の低下など地球規模での環境問題だけでなく、不法投棄や水質汚濁など私たちの身近な生活環境に起因する環境問題も多く発生しています。

これらの問題を解決していくには、環境への負荷低減を意識したライフスタイルへの転換や地産地消の推進など、「循環の環」を意識した生活を心がけることが重要です。また、人が自然との良好な関係を維持していくため、地域特性に応じた計画的な環境保全の仕組みづくりや、土地開発の際のガイドラインの策定など、市民・事業者・行政などが、協力・連携して推進していくことで「共働の環」を広げ、環のまちが実現することをめざします。

<環のまちプロジェクトの具体的イメージ>

